



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社 コピキタス
コード番号 3858 URL <https://www.ubiquitous.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 勝大

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 長谷川 聡

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,559	105.3	112		71		115	
29年3月期第3四半期	759		275		275		298	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 117百万円 (%) 29年3月期第3四半期 289百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	11.06	
29年3月期第3四半期	28.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,924	2,547	86.8
29年3月期	2,900	2,658	91.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,538百万円 29年3月期 2,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,390	112.6	28		12		81		7.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社エーアイコーポレーション、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	10,426,000 株	29年3月期	10,414,300 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	45 株	29年3月期	45 株
----------	------	--------	------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	10,423,712 株	29年3月期3Q	10,401,583 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,559,584千円、平成29年11月9日発表の通期業績予想に対し65.3%の達成率となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして従来の「コネクティビティ事業」、「組込みソフトウェア事業」、「ソフトウェアサービス事業」に「ソフトウェアディストリビューション事業」を加え、4つのセグメントに変更いたしました。

「コネクティビティ事業」は、株式会社ユビキタスにおける、Internet of Things(モノのインターネット)向けを中心とした組込みネットワークソフトウェアおよびセキュリティ関連ソフトウェア製品の開発及び販売等に関するセグメントであります。

「組込みソフトウェア事業」は、株式会社ユビキタスにおける、データベース関連、高速起動関連等のデバイス組込み用ソフトウェアの単一製品の開発及び販売等に関するセグメントであります。

「ソフトウェアサービス事業」は、株式会社エイムにおける、組込みソフトウェア等の受託を中心とした各種ソフトウェアの設計、開発、及びデータコンテンツのライセンス販売等に関するセグメントであります。

「ソフトウェアディストリビューション事業」は、第1四半期連結会計期間より当社の連結子会社となった株式会社エーアイコーポレーションにおける、海外ソフトウェアの輸入販売、テクニカルサポート、及びカスタマイズ開発に関するセグメントであります。

セグメント及び分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりであります。

セグメント	分野	当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間	
		売上高(注1) (千円)	売上割合 (%)	売上高(注1) (千円)	売上割合 (%)
コネクティビティ事業(注2)		233,608	15.0	250,589	33.0
組込みソフトウェア事業	データベース関連	75,204	4.8	84,627	11.1
	高速起動関連	183,960	11.8	140,177	18.5
	小計	259,165	16.6	224,805	29.6
ソフトウェアサービス事業		255,631	16.4	284,140	37.4
ソフトウェアディストリビューション事業		811,178	52.0	—	—
合計		1,559,584	100.0	759,535	100.0

(注1) 売上高は、セグメント間取引を消去しております。

(注2) サービス&ソリューション関連は、事業の一部譲渡に伴い、コネクティビティ事業に含めております。

■コネクティビティ事業

コネクティビティ事業の売上高は233,608千円(前年同四半期比6.8%減)、セグメント損失は79,708千円(前年同四半期は265,901千円の損失)となりました。

コネクティビティ事業の売上高はスマートエネルギー関連の案件等において「Ubiquitous Network Framework」等に関する受託開発売上を中心に売上を計上いたしました。また、OA機器の新規顧客から「Ubiquitous HDCP」、「Ubiquitous Securus」に関する契約時一時金、ロイヤルティ売上を計上いたしました。

その他デジタルイメージング等の既存顧客との間でロイヤルティ売上、POS関連機器等で「Ubiquitous TPM Security」のロイヤルティ売上等を計上いたしました。

■組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア事業の売上高は259,165千円(前年同四半期比15.3%増)、セグメント利益は72,028千円(前年同四半期比345.2%増)となりました。

データベース関連は、OA、産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を中心に計上いたしました。また新規に車載機器関連の契約時一時金を計上しました。

高速起動関連は、車載機器の既存顧客量産が堅調に推移するとともに今年度から量産に移行した新規顧客からのロイヤルティ売上を獲得するとともに、OA機器や産業機器等の新規顧客からの契約時一時金と受託開発売上等を計上いたしました。引き続きカーナビゲーションシステム等車載向けの端末を中心に、複数社との間で大・中

規模案件の研究開発、及び商品化に向けた新規案件の受注も含めた実装を継続しており、また、車載機器向けに加えて一般消費者への電子機器向けの評価等海外顧客の案件対応も進めております。

平成29年10月18日には当社高速起動製品「Ubiquitous QuickBoot」が新たに米国インテル社のx86アーキテクチャAtom®プロセッサに対応発表し、また車載機器向けのLinuxプラットフォームAutomotive Grade Linux(AGL)への対応も進めており、より広範囲の機器、分野への展開を行っています。

■ソフトウェアサービス事業

ソフトウェアサービス事業の売上高は255,631千円(前年同四半期比10.0%減)、セグメント損失は15,800千円(前年同四半期は33,582千円の損失)となりました。

ソフトウェアサービス事業は、既存顧客との各種受託開発売上、車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料売上等を計上いたしました。

平成29年10月には、辞書データを活用し正確で統一のとれたデータ環境を実現するサービス「Word Cleanser」の提供を開始いたしました。

■ソフトウェアディストリビューション事業

ソフトウェアディストリビューション事業の売上高は811,178千円、セグメント損失は65,874千円となりました。

株式会社エーアイコーポレーションの取り扱い製品のうちワイヤレス製品では、車載機器等の既存顧客から「Blue SDK」(Bluetoothプロトコルスタック)のロイヤルティ売上及び受託開発売上等を計上いたしました。

BIOS製品では、パーソナルコンピュータの既存顧客から「InsydeH20」(「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ドライバベースの次世代BIOS)のロイヤルティ売上等を計上いたしました。

キャリアグレード製品ではネットワーク機器の既存顧客から「ConfD」(オンデバイスネットワーク機器管理用ソフトウェア)の年間ライセンス売上等を獲得いたしました。

また、第1四半期累計期間より取扱いを開始したドライバーモニタリングシステム「CoDriver」の引き合いが好調で、新規顧客との間での契約時一時金売上を獲得し、複数顧客との営業活動を継続中です。

その他、多数の取り扱い製品より、既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上いたしました。

平成29年10月には、米国のBeyond Security社とファジングツール「BeSTORM」の国内総代理店契約を締結し販売を開始いたしました。車載分野をはじめIoTのセキュリティ確保に向けた取り組みにおいて当該分野は今後重要視されると予測し、注力製品として拡販を行ってまいります。また、当製品を含めた当社取扱いの品質向上支援などのツール製品の一部は年間利用ライセンス契約により継続契約を獲得することにより収益の安定化につながるため、販売促進を重点的に行ってまいります。

なお、平成29年10月に、当社グループで、IoT機器のサイバーセキュリティ対策とソフトウェア品質向上を実現する製品群と技術サービスを統合した事業を開始することを発表いたしました。要求仕様検討から出荷後のサポートまで、当社製品と株式会社エーアイコーポレーションの取り扱い幅広いツール、ミドルウェアと技術サービスを提供し開発プロセス全般をカバーするソリューションを提供いたします。

また、これに関連し、サイバートラスト株式会社とIoT機器向けの脆弱性診断サービスの協業を開始したことも発表いたしました。IoT機器の普及に伴い重要な課題とされるIoT機器自体のサイバーセキュリティの確保を推進する活動を行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,559,584千円(前年同四半期比65.3%増)、営業損失112,432千円(前年同四半期は275,655千円の損失)、経常損失71,948千円(前年同四半期は275,503千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失115,374千円(前年同四半期は298,843千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,770,014千円(前連結会計年度比529,403千円減)となりました。その主な内訳は、現金及び預金981,822千円、有価証券299,959千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、1,154,965千円(前連結会計年度比553,796千円増)となりました。その主な内訳は、のれん789,336千円、投資有価証券221,983千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、285,588千円(前連結会計年度比83,274千円増)となりました。その主な内訳は、前受金74,825千円、買掛金64,571千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、92,290千円(前連結会計年度比52,567千円増)となりました。その主な内訳は、退職給付に係る負債47,604千円、資産除去債務30,474千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,547,101千円(前連結会計年度比111,448千円減)となりました。その主な内訳は、資本金1,470,980千円、資本剰余金1,440,980千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月9日に公表いたしました「平成30年3月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,032,629	981,822
売掛金	218,547	305,051
有価証券	—	299,959
商品及び製品	—	5,823
仕掛品	20,488	45,469
前払費用	15,356	52,248
繰延税金資産	3,748	26,339
その他	8,647	53,299
流動資産合計	2,299,418	1,770,014
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	526	1,000
工具、器具及び備品(純額)	1,011	3,152
車両運搬具(純額)	1,495	1,121
有形固定資産合計	3,033	5,275
無形固定資産		
ソフトウェア	9,112	18,135
のれん	415,338	789,336
無形固定資産合計	424,451	807,471
投資その他の資産		
投資有価証券	124,822	221,983
差入保証金	41,501	56,209
繰延税金資産	2,876	22,731
その他	4,483	41,293
投資その他の資産合計	173,683	342,218
固定資産合計	601,169	1,154,965
資産合計	2,900,587	2,924,980

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,043	64,571
未払金	76,440	48,709
未払費用	19,510	35,586
未払法人税等	39,476	21,716
未払消費税等	11,296	25,931
前受金	32,400	74,825
その他	10,146	14,248
流動負債合計	202,314	285,588
固定負債		
繰延税金負債	14,471	14,211
退職給付に係る負債	—	47,604
資産除去債務	25,251	30,474
固定負債合計	39,722	92,290
負債合計	242,037	377,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,466,547	1,470,980
資本剰余金	1,436,547	1,440,980
利益剰余金	△289,759	△405,133
自己株式	△52	△52
株主資本合計	2,613,283	2,506,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,970	31,988
その他の包括利益累計額合計	33,970	31,988
新株予約権	11,295	8,339
純資産合計	2,658,549	2,547,101
負債純資産合計	2,900,587	2,924,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	759,535	1,559,584
売上原価	412,034	811,828
売上総利益	347,501	747,755
販売費及び一般管理費		
役員報酬	68,112	76,203
給料及び手当	200,104	316,315
法定福利費	31,690	56,142
退職給付費用	—	8,903
広告宣伝費	17,134	13,080
不動産賃借料	21,598	41,085
支払手数料	61,697	82,434
のれん償却額	77,876	157,618
研究開発費	79,170	30,449
その他	65,772	77,955
販売費及び一般管理費合計	623,157	860,188
営業損失(△)	△275,655	△112,432
営業外収益		
受取利息	1,989	134
受取配当金	1,342	1,582
受取補償金	—	35,948
為替差益	—	2,487
その他	131	330
営業外収益合計	3,463	40,483
営業外費用		
支払利息	151	—
為替差損	3,160	—
営業外費用合計	3,311	—
経常損失(△)	△275,503	△71,948
特別利益		
新株予約権戻入益	577	—
投資有価証券売却益	937	—
特別利益合計	1,514	—
特別損失		
減損損失	1,449	651
投資有価証券売却損	1,800	—
特別損失合計	3,249	651
税金等調整前四半期純損失(△)	△277,238	△72,600
法人税、住民税及び事業税	15,921	33,676
法人税等調整額	5,683	9,098
法人税等合計	21,604	42,774
四半期純損失(△)	△298,843	△115,374
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△298,843	△115,374

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△298,843	△115,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,605	△1,981
その他の包括利益合計	9,605	△1,981
四半期包括利益	△289,237	△117,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△289,237	△117,356

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。